



令和6年度杉並区立済美養護学校 学校経営計画（骨子）

< 目指す児童・生徒像 = 学校教育目標 >

輝く子ども — 自他を認め、社会の中で生きる力と生きる喜びを育む —

< 目指す学校像 4つの柱 >

- ① **【安心と安全】** ・児童・生徒が自他を認め、安全・安心な環境で主体的に学校生活を送れる学校
- ② **【授業の充実】** ・個別の最適化により、児童・生徒の可能性を引き出し、最大限に伸ばす学校
- ③ **【地域との連携】** ・学校と地域が相互理解を深め、地域を愛し地域に愛される学校
- ④ **【組織力の向上】** ・特別支援教育の専門性を発揮し、チームで組織的に課題を解決する学校

< 4つの柱 具体的な取組み >

【安心と安全】

児童・生徒が、主体的に学校生活を送れるよう、安全・安心な教育環境を整え、健康・人権感覚・人権意識・防災意識を高める活動を推進します。

- 新しい生活様式に応じ、安全・安心で健康に過ごせる教育環境を整えます。
- 児童・生徒が、お互いを理解し尊重しあえる、人権を尊重する教育を推進します。
- 地域や防災課との連携により、実際の災害を想定した危機管理体制を構築します。

【授業の充実】

児童・生徒が、個別最適な学びや協働的な学びの中で、身につけた力を主体的に発揮し目標を達成できる、学習指導の充実を推進します。

- 学校と家庭が連携し、児童・生徒の実態に応じた個別指導計画や学校生活支援シートを作成し、適切な学習目標の設定とその評価を行います。
- 学校と家庭で、児童・生徒の理想の将来像を共有し、進路指導の充実をはかります。

【地域との連携】

学校と地域との連携を強め、地域資産を積極的に活用し、インクルーシブな社会の構築を推進するセンター校としての役割を強化します。

- 地域運営学校の機能を活かし、地域と連携した活動を充実させ、情報の発信と共有を通して、インクルーシブ社会の構築に努めます。
- 地域の資産を活用した児童・生徒の授業の充実を行い、特別支援教育の一層の充実を図ります。

【組織力の向上】

特別支援教育のセンター校として、特別支援教育の専門性を維持・向上し、チームで課題に取り組む強い組織づくりを推進します。

- 不適切な指導等や個人情報の紛失を防ぎ、服務事故ゼロを目指します。
- 杉並区の研究指定校の取組を通して、組織的な人材育成に努め、教員全体の学習指導力の向上をはじめ、特別支援教育の専門性の向上を目指します。

< 今年度の重点 >

- 児童・生徒の人権を守り、主体的に物事に取り組むことのできる教育環境を整備・構築する。
- 学校と家庭が連携して、児童・生徒の理想の将来像を見据え、切れ目のない進路指導を行う。
- 教職員の特別支援教育の専門性を高め、センター校としての機能を充実させる。